

親は子どもに本当はなにを期待しているのか ——「男らしく女らしく」への期待から——

大槻 奈巳

要 旨

本稿は、国立女性教育会館が2005年に実施した「家庭教育に関する国際比較調査」の結果をもとに親の子どもへの「男らしく女らしく」という期待について考察する。調査の結果から、第一に、6カ国のすべての国において、1994年と2005年の結果を比べると「男らしく女らしく」の期待は減り、特にスウェーデンにおいて著しく減っていること、第二に、日本の「男らしく女らしく」という親の子どもへの期待の10年間の変化をみても、父親の男の子への期待だけが変わらず、母親の男の子への期待、父親と母親の女の子への期待はいずれも減少していること、第三に、日本における「男らしく女らしく」という期待と、親が子どもに期待する他の項目との関連についてみると、2005年の結果では、父親・母親の男の子への「男らしく女らしく」期待は、「他人との競争に勝てる」との関連が特に高く、一方、父親・母親の女の子への「男らしく女らしく」期待は、「親のいうことを素直にきく」と関連が高いこと、第四に、6カ国における「男らしく女らしく」という期待と、親が子どもに期待する他の項目との関連についてみると、「男らしく女らしく」という期待には、男の子の場合は、タイを除く5カ国において「他人との競争に勝てる」という期待と関連が高いこと、第五に、「男らしく女らしく」をより期待するのはどんな親かをみたと、1994年と2005年の結果を比べると特に日本・韓国・タイにおいて男の子を対象として「男らしく女らしく」を期待する傾向が強まったこと、第六に、日本で「男らしく女らしく」をより期待するのはどんな親かを検証したところ、父親が母親より期待していること、女の子より男の子がより期待されていること、また、親の年齢、子どもの年齢、親の職業、生活の程度によってこの期待に違いはなかったことが明らかになった。以上をふまえ、全体として「男らしく女らしく」という期待は減ってきているものの、男の子に対する「男らしく女らしく」という期待は強まり、「男らしく女らしく」を期待されているのは女の子ではなく男の子であった。また、「男らしく女らしく」という期待は、男の子の場合は、「他人との競争に勝てる」という期待との関連が高かった。つまり、男の子への「男らしく女らしく」という期待に「他人との競争に勝てる」という期待がこめられていることがわかった。

キーワード：親の子どもへの期待、男らしさ女らしさ、国際比較調査

1. はじめに

本稿の目的は、国立女性教育会館が2005年に実施した「家庭教育に関する国際比較調査」の結果をもとに親の子どもへの期待、特に「男らしく女らしく」の期

待について考察することである。「家庭教育に関する国際比較調査」は日本および諸外国の家庭・家族の変化、家庭教育の実態、親の意識を調査し、現代日本の家庭教育の特色や課題を明らかにすることを目的とし、1994年と2005年の二度にわたって実施された¹⁾。日本の出生率の低下、社会のなかの子育てに関する不安

が指摘されるなか、子どもを育てている親たちの気持ちや子育ての実態を明らかにしようという問題意識から行われた。

一方で、2006年に制定された教育基本法第10条には親の責任、子どもの教育への努めが明記され、教育再生会議では「親業に関する緊急提言」がまとめられたように、「家庭教育」に対する関心は高まっている。本田[2007]は1990年代後半の日本社会において「社会化」に重点をおく政策動向と「選抜」に重点をおく社会的関心がずれながらも重なり合う形で形成され、「社会化」に重点をおく政策動向においても「選抜」に重点をおく社会的関心のなかでも「家庭教育」の重要性が声高に語られるようになったと指摘している。さらに「ジェンダー」をめぐる教育のありかたについても様々な議論がおこった[木村 2005]。

このような状況を背景に、本稿では子どもを育てている親たちが、子どもになにを期待しているのかを「社会化」の視点から、特に「男らしく女らしく」への期待について考えてみたい。

2. 親の子どもへの期待に関する研究

親の子どもへの期待を論じた研究は様々な視点で行われてきたが、親の職業から論じたのがコーンの研究である[Kohn 1977]。コーンは親が子どもに望むことを「正直なこと」「責任感があること」「他人に思いやりのあること」などの13項目をもちいて、親の子どもへ期待することと親の職業や階層との関連を検討した。その結果、コーンは、ミドルクラスの親は子どもに自律的な価値を持つことを期待し、ワーキングクラスの親は子どもに同調的な価値を持つことを期待していると、この違いはミドルクラスとワーキングクラスにおけるそれぞれの職業において求められる資質の違いから生じている、つまり、ミドルクラスの親は職業上自律的な価値を持つことを期待されているので、子どもにも自律的な価値を期待し、ワーキングクラスの親は職業上同調的な価値を持つことを期待されているので、子どもにも同調的な価値を期待すると結論づけた。

また、渡辺[1996]は母親の子どもに期待することの日米比較を行っている。そのなかで、日本の母親は他者志向的な価値を、アメリカの親は自己志向的な価

値を子どもに望んでいること、日本の母親においては子どもの性別によって期待が異なること、コーンの指摘した自己志向的な価値を日本では男の子に、ワーキングクラスの親が期待する他者志向的な価値観を日本では女の子に強く期待していると述べ、日本の母親は女の子に階層構造における上層的価値を男の子ほど期待していないという[渡辺 1996]。

日本において子育ての意識や行動が子どもの性によって異なるという知見は多く、「男らしく女らしく」育てたいという意識の高さ、女の子により手伝いをさせる、男の子により高い学歴を期待するなどが指摘されている[中西・堀 1997、木村 1999]。

一方で、吉武[1996]は幼稚園児を持つ親を対象に男の子らしく、女の子らしくといった性の違いによるしつけの違い、期待の違いについて検証し、親たちが男らしく女らしくと区別して育てていないこと、男の子でも女の子でも親の期待の高さに違いがないことを述べている。また、神原・吉田[2000]は、親の「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけたい」という性別子育て意識は強いが、実際の子育て内容や子どもの育ち方の中身を検討すると、男の子と女の子とさほどの違いはなく、日常の子育て行動で具体化されているとはみえないという。その一方で、親たちの「男らしく女らしく」という性別子育て意識が性差別につながりかねないという認識が低いことを指摘し、親たちの「男らしく女らしく」のイメージを明らかにするのが課題であるという。

本稿では親の期待のなかでも、「男らしく女らしく」という期待について、①男の子と女の子では期待のあり方が異なるのか、②父親と母親で期待のあり方は異なるのか、③他のどんな期待と関連が強いのか、④どんな親が子どもに期待するのか、⑤期待の持つ意味について検討したい。

3. 調査の概要²⁾

3.1. 調査の対象、時期、サンプルについて

調査の対象国として、2005年調査では、日本、韓国、タイ、アメリカ、フランス、スウェーデンの6ヵ国を、1994年の調査では、日本、韓国、タイ、アメリカ、イギリス、スウェーデンの6ヵ国を対象としている。1994年の調査ではイギリスを対象国としたが、現在子育て

政策を打ち出し出生率が回復しているフランスの状況を知りたいことから、対象からイギリスをはずし、フランスを入れた。

調査の対象者は0～12歳までの子どもと同居している親、またはそれに相当する人とした。各国とも、父親500名、母親500名を目標サンプルとした。日本は住民基本台帳より、層化二段無作為抽出により抽出、その他の5カ国はすべて割当法を用いた。

よって、6カ国とも子どもの人口構成に基づく全国サンプルである。調査方法はいずれの国も、個別訪問面接調査である。調査は、日本が2005年3月～4月、その他の国は2005年4月～6月に実施した。また、有効回収票数は日本1013票、韓国1009票、タイ1000票、アメリカ1000票、フランス1001票、スウェーデン1026票である。

3.2. 質問文について

質問文は「問17〔カード15〕〇〇さんが15歳くらいになった時、どのような子になって欲しいと期待しますか。次にあげる項目について、あなたがお子さんに期待する程度をお答えください」という形で聞き、そのひとつの項目として「男の子は男らしく、女の子は女らしくする」を聞いた。回答は「強く期待する」「少し期待する」「あまり期待しない」「全く期待しない」のカテゴリーで回答してもらった。

4. 分析の結果

4.1.6カ国別「男らしく女らしく」の期待について

図1は、6カ国別に「男らしく女らしく」への期待を1994年と2005年の結果について比較したものである³⁾。どの国も「男らしく女らしく」を「期待しない」とする割合が増え、「強く期待」が減っている。この傾向は6カ国すべてに共通している。日本は「期待しない」の割合が1994年の12.2%から2005年の23.4%へ増え、「強く期待」の割合は1994年の48.5%から2005年には35.1%に減った。韓国では「期待しない」の割合が4.1%から10.3%へ、「強く期待」の割合が57.5%から46.7%へ、タイでは「期待しない」の割合が3.5%から9.5%、「強く期待」の割合が82.2%から59.5%へ、アメリカでは「期待しない」の割合が3.6%から13.1%へ、「強く期待」が83.6%から62.2%になった。フランスではこのような傾向が顕著で「期待しない」の割合は1994年の17.9%から2005年の37.6%へ増え、「強く期待」の割合は75.0%から39.2%へと減った。また、日本とスウェーデンでは、1994年と2005年で「少し期待する」の割合はあまり変化がなく、日本では1994年と2005年ともに40%前後、スウェーデンでは25%前後となっている。「期待しない」の増えた分だけ、「強く期待する」割合が減っている状況となっている。

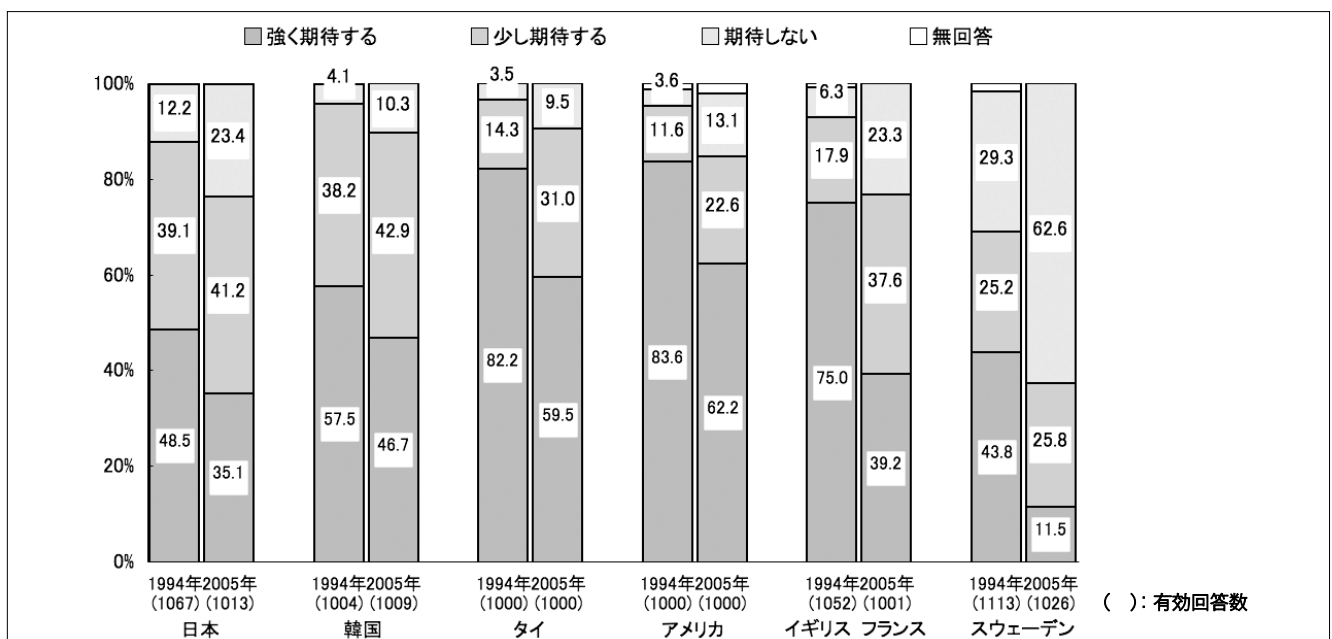


図1 各国別・年次別「男らしく女らしく」の期待度の割合

注：2005年調査の「期待しない」は、「あまり期待しない」「全く期待しない」を合計した割合

4.2. 日本の子どもの性別・父母の性別「男らしく女らしく」の期待について

次に、日本の状況について、男の子と女の子にわけて、それぞれ父親と母親が「男らしく女らしく」を期待するかをみてみたい⁴⁾。図2は1994年の結果である。男の子に対する「男らしく女らしく」の期待は父親の54.0%、母親の50.2%が「強く期待」していた。女の子に対しては父親の51.9%、母親の38.2%が「強く期待」していた。父親は男の子と女の子に対して同じように期待していたが、母親は男の子より女の子には「強く期待」する割合が低かった。一方、2005年の結果をみると(図3)、男の子に対しては父親の52.2%が「強く期待」し、これは1994年の結果とほぼ同じ割合であるが、母親の男の子への期待は32.9%と1994年の50.2%から減っている。また、女の子への期待は父親の36.2%、母親の23.2%と1994年と比べるとそれぞれ「強く期待」する割合は減っている。1994年と2005年の結果を比べると、父親の男の子への期待だけが同じように期待されていることがわかる。

4.3. 日本の「男らしく女らしく」と他の期待の関連について

日本における「男らしく女らしく」という期待が他のどのような期待と関連が強いのかをみたのが表1(1994年)、表2(2005年)である⁵⁾。1994年と2005年

の調査では調査項目が異なっており、比較するのは難しいが、それぞれの特徴をみてみたい。

1994年の結果では、父親の男の子への「男らしく女らしく」期待は、「自分の人生の目標を持つ」「親のいうことを素直にきく」が特に関連が高く(相関係数⁶⁾0.35以上)、母親の男の子への期待は「親のいうことを素直にきく」が、関連が高い(相関係数0.33以上)。父親の女の子への「男らしく女らしく」期待は、「親のいうことを素直にきく」「我慢をしても他人と協調できる」「ユーモアがある」と関連が高く、母親の女の子への期待は「親のいうことを素直にきく」が特に関連が高い(相関係数0.35以上)。

2005年の結果では、父親の男の子への「男らしく女らしく」期待は、「他人との競争に勝てる」「リーダーシップがとれる」との関連が特に高く(相関係数0.4以上)、母親の男の子への期待も「他人との競争に勝てる」が、関連が高い(相関係数0.35以上)。父親・母親の女の子への「男らしく女らしく」期待は、「親のいうことを素直にきく」と関連が高い(相関係数0.35以上)。

1994年と2005年の調査項目が異なるので、比較するのはやや難しい点があるが、1994年の父親の男の子への期待では「自分の人生の目標を持つ」「親のいうことを素直にきく」が特に関連が高かったが、2005年の結果では「自分の人生の目標を持つ」「親のいうことを素直にきく」の期待と関連は高いものの1994年の

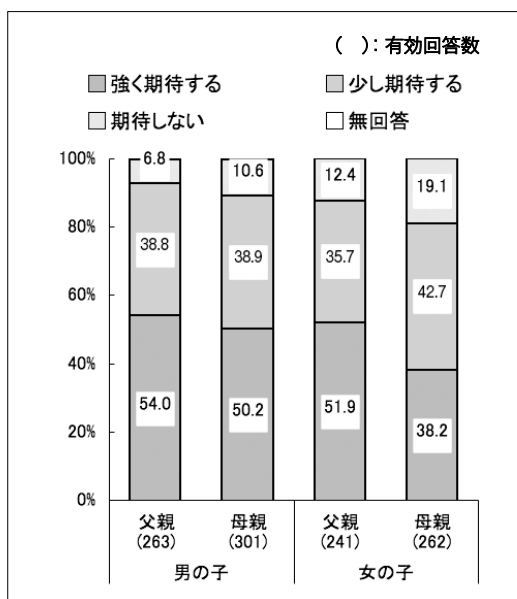


図2 1994年日本の子ども・父母の性別「男らしく女らしく」の期待度割合

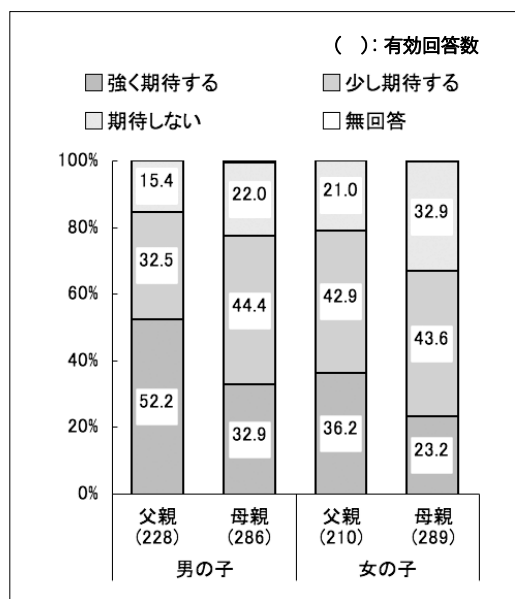


図3 2005年日本の子ども・父母の性別「男らしく女らしく」の期待度割合

「期待しない」は、「あまり期待しない」「全く期待しない」を合計した割合

結果ほど関連は高くなく、「他人との競争に勝てる」「リーダーシップがとれる」との関連が特に高くなっている。母親の男の子への期待も父親の期待と同様に、1994年に関連がもっとも高かった「親のいうことを素直にきく」は、2005年の結果では関連はあるものの、「他人との競争に勝てる」「高い地位につく」「自分の人生の目標を持つ」との期待の方が特に関連が高い結果となっている。

女の子への父親の期待・母親の期待は1994年、2005年の結果においても「親のいうことを素直にきく」の期待と関連がもっとも高い傾向があった。

「男らしく女らしく」という期待には、男の子の場合は、「他人との競争に勝てる」という期待がこめられており、女の子の場合には「親のいうことを素直にきく」との期待がこめられているといえよう。

4.4.6カ国別「男らしく女らしく」と他の期待の関連について

次に、2005年の結果をもとに6カ国別「男らしく女らしく」と他の期待の関連について検討したい(表3)。

韓国における「男らしく女らしく」期待では父親の男の子への期待としては「困っている人を助ける」「人生の目標を持つ」という期待との関連が高く、母親の男の子への期待では「他人との競争に勝てる」「困っている人を助ける」の順番で関連が高い。父親の女の子への期待では「他人と協調できる」、母親の女の子への期待では「困っている人を助ける」との関連が高い。

タイの結果をみても、父親の男の子への「男らしく女らしく」期待は「困っている人を助ける」「リーダーシップがとれる」との関連が高く、母親の男の子への期待では「他人との協調」との関連が高い。また、母親の女の子への期待では「幸せな家庭をきずく」「親のいうことをきく」と関連が高い。

表1 1994年 日本の「男らしく女らしく」と他の期待項目の相関係数(ピアソンr)

	日本			
	男の子		女の子	
	父親	母親	父親	母親
a.勉強ができる	0.029	0.078	0.164 *	0.150 *
b.楽しく遊んだり運動したりできる	0.131 *	0.165 **	0.152 *	0.112
c.きちんとした身なりをする	0.312 ***	0.229 ***	0.277 ***	0.165 **
d.異性からみて魅力がある	0.283 ***	0.155 **	0.264 ***	0.272 ***
e.ユーモアがある	0.243 ***	0.194 ***	0.360 ***	0.110
f.親のいうことを素直にきく	0.358 ***	0.336 ***	0.470 ***	0.382 ***
g.勉強以外に打ち込めるものを持つ	0.189 **	0.128 *	0.203 **	0.134 *
h.あきらめないで粘り強く取り組む	0.241 ***	0.178 **	0.246 ***	0.134 *
i.自分の意見をハッキリ述べる	0.300 ***	0.096	0.289 ***	0.183 **
j.我慢をしても他人と協調できる	0.314 ***	0.301 ***	0.428 ***	0.335 ***
k.自分の人生の目標を持つ	0.385 ***	0.314 ***	0.300 ***	0.251 ***

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)「強く期待」=1「少し期待」=2「期待しない」=3

表2 2005年 日本の「男らしく女らしく」と他の期待項目の相関係数(ピアソンr)

	日本			
	男の子		女の子	
	父親	母親	父親	母親
Q17a.学校でよい成績をとる	0.114	0.171 **	0.156 *	0.297 ***
Q17b.親のいうことを素直にきく	0.307 ***	0.239 ***	0.365 ***	0.364 ***
Q17c.自分の意見をハッキリ述べる	0.165 *	0.115	0.206 **	0.121 *
Q17d.他人と協調できる	0.279 ***	0.174 **	0.233 ***	0.203 ***
Q17e.自分の人生の目標を持つ	0.203 **	0.303 ***	0.209 **	0.102
Q17f.困っている人を見たら助けてあげる	0.259 ***	0.201 ***	0.305 ***	0.256 ***
Q17h.リーダーシップがとれる	0.403 ***	0.291 ***	0.232 ***	0.319 ***
Q17i.他人との競争に勝てる	0.415 ***	0.358 ***	0.279 ***	0.287 ***
Q19a.高い収入を得ること	0.140 *	0.204 ***	0.160 *	0.167 **
Q19b.有名になること	0.134 *	0.208 ***	0.118	0.173 **
Q19c.高い地位につくこと	0.213 **	0.322 ***	0.104	0.161 **
Q19d.人のためにつくすこと	0.187 **	0.174 **	0.234 ***	0.244 ***
Q19e.幸せな家庭をきずくこと	0.279 ***	0.177 **	0.315 ***	0.112
Q19f.仕事よりも趣味・余暇を楽しむこと	-0.014	0.096	0.004	0.123 *

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)「強く期待」=1「少し期待」=2「あまり期待しない」=3「全く期待しない」=4

アメリカの結果をみると、父親の男の子への「男らしく女らしく」期待は「他人との競争に勝てる」と極めて高い関連があった。母親の男の子への期待も同様に「他人との競争に勝てる」と高い関連がある。女の子への「男らしく女らしく」期待は、父親の場合は「困っている人を助ける」と関連が高いが、母親の場合は、男の子と同様に「他人との競争に勝てる」との関連がとて高い。

フランスの場合も、男の子への「男らしく女らしく」期待は父親の場合、母親の場合ともに「他人との競争に勝てる」ともっとも関連が高かった。女の子への期待においても、父親は男の子と同様に「他人との競争に勝てる」との関連がもっとも高く、母親の場合は「困っている人を助ける」「他人との競争に勝てる」の順で関連が高かった。

スウェーデンの結果でも、男の子への「男らしく女らしく」期待は父親の場合、母親の場合ともに「他人との競争に勝てる」ともっとも関連が高く、女の子の場合でも母親においては「他人との競争に勝てる」がもっとも関連が高かった。

以上の2005年の結果をふまえると、日本と同じよう

に、男の子への「男らしく女らしく」への期待と「他人との競争に勝てる」との期待の関連が高いのが、韓国の母親、アメリカの父親・母親、フランスの父親・母親、スウェーデンの父親・母親であり、女の子の場合でもアメリカの母親、スウェーデンの母親では、女の子への「男らしく女らしく」への期待と「他人との競争に勝てる」との期待の関連が高い。また、日本、韓国、タイでは女の子への「男らしく女らしく」への期待は父親・母親ともに「親のいうことをきく」「困っている人を助ける」「幸せな家庭をきづく」と関連が高い。

つまり、「男らしく女らしく」という期待には、男の子の場合は、タイを除く5カ国において「他人との競争に勝てる」という期待がこめられており、女の子の場合にはアメリカ、スウェーデンでは母親からの期待としては「他人との競争に勝てる」という期待が、日本、韓国、タイの場合は父親・母親ともに「親のいうことをきく」「困っている人を助ける」「幸せな家庭をきづく」との期待がこめられているといえよう。

表3 2005年 6カ国別「男らしく女らしく」と他の期待項目の相関係数(ピアソンr)

	日本				韓国				タイ			
	男の子		女の子		男の子		女の子		男の子		女の子	
	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親
よい成績				0.297		0.240			0.274	0.214	0.334	0.230
親のいうこと	0.307	0.239	0.365	0.364	0.257	0.344	0.265	0.310	0.203	0.244		0.352
自分の意見			0.206		0.324	0.359	0.258	0.299		0.263		0.265
他人と協調	0.279		0.233	0.203	0.328	0.246	0.346	0.274	0.252	0.411		0.286
人生の目標	0.203	0.303	0.209		0.459	0.426	0.320	0.246	0.281		0.331	0.327
困っている人	0.259	0.201	0.305	0.256	0.479	0.462	0.343	0.376	0.328	0.320		0.301
リーダーシップ	0.403	0.291	0.232	0.319	0.429	0.447		0.244	0.294	0.262		
他人との競争	0.415	0.358	0.279	0.287	0.290	0.471		0.291				0.289
高い収入		0.204									0.258	0.225
有名		0.208				0.293						0.225
高い地位	0.213	0.322				0.354						
人のため			0.234	0.244	0.287	0.337	0.222	0.266				
幸せな家庭	0.279		0.315		0.246				0.262		0.259	0.402
趣味・余暇								0.212				
	アメリカ				フランス				スウェーデン			
	男の子		女の子		男の子		女の子		男の子		女の子	
	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親	父親	母親
よい成績	0.317		0.226		0.216	0.278			0.240	0.206		0.277
親のいうこと	0.281		0.294						0.227		0.227	0.252
自分の意見	0.282	0.276	0.214	0.257				0.206				
他人と協調	0.266		0.348	0.262				0.250				
人生の目標	0.325	0.338	0.255	0.322	0.217			0.299				
困っている人	0.229		0.409	0.254				0.360				
リーダーシップ	0.249	0.209	0.210	0.361	0.340	0.440	0.311	0.262				
他人との競争	0.536	0.474	0.346	0.489	0.345	0.457	0.341	0.303	0.412	0.396	0.279	0.444
高い収入	0.359	0.249	0.210	0.263					0.268	0.358	0.205	0.250
有名									0.296	0.254	0.249	0.286
高い地位	0.292	0.238		0.206	0.280				0.373	0.339	0.243	0.292
人のため				0.233								
幸せな家庭	0.204											
趣味・余暇												

表示の係数値はr=0.2以上でP<.01

r=0.35以上

r=0.4以上

4.5. 「男らしく女らしく」をより期待するのはどんな親か

「男らしく女らしく」をどんな親がより期待するのかを検討するため、親の年齢、学歴、職業、悩みの数、子どもの成長満足度、子育てへの気持ち、生活の程度、対象の子どもの年齢、対象の子どもの性別を説明変数とするロジスティック回帰分析を行った(表4、表5)⁷⁾。

1994年の結果をみると、日本の母親、タイの母親、アメリカの母親、イギリスの母親が女の子より男の子

に対して「男らしく女らしく」をより期待している。2005年の結果をみると、日本の父親・母親、韓国の父親・母親、タイの父親・母親、スウェーデンの母親が女の子より男の子に対して「男らしく女らしく」をより期待している。一方、フランスの父親は女の子に「男らしく女らしく」をより期待している。1994年と2005年の結果を比べると、特に日本・韓国・タイにおいて男の子を対象として「男らしく女らしく」を期待する傾向が強まったといえよう。

表4 1994年 「男らしく女らしく」を強く期待する親のロジスティック回帰分析(オッズ比)

1994年	日本		韓国		タイ		アメリカ		イギリス		スウェーデン	
	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)
親の年齢(中央値換算)	1.01	1.00	0.97	1.02	1.01	0.96 *	0.98	1.01	1.02	1.01	1.00	0.99
同居子ども数	1.11	1.04	1.06	1.28	1.04	0.91	1.25	1.03	0.99	0.89	0.95	1.02
対象子年齢	1.02	1.01	1.02	1.00	1.00	1.02	1.10 *	1.04	1.02	1.09 *	1.04	1.05
対象子性別・男児ダミー	1.12	1.74 **	1.43	1.28	0.84	1.63 *	0.98	1.87 *	1.05	2.20 ***	0.95	0.74
悩み数(0~18個)	1.04	0.95	1.02	1.01	0.96	1.08	1.04	1.04	0.96	0.93 *	0.98	0.99
成長満足度 (満足=4、…… 不満=1点)	1.15	0.86	0.98	0.93	1.86 **	1.62 *	3.34 ***	2.49 ***	0.58	1.12	0.67	1.41
子育て楽しい (いつも感じる=3、…… 感じない=1点)	1.32	1.53 *	1.91 **	1.60 **	1.77 **	1.18	1.28	1.03	1.23	1.38	1.39	1.09
親の学歴(参照:低レベル)												
中レベル	0.39 **	0.39 ***	0.82	0.78	0.83	0.77	1.59	0.42 *	-	-	0.53 **	1.18
高レベル	0.65	0.35 **	0.55	1.02	1.43	0.52	0.50	0.45 *	0.82	0.92	0.45 **	0.63
その他・不明	1.01E+09	0.65	-	-	0.85	0.22	2.81E+08	0.33	0.22	0.70	0.66	0.87
親の職業(参照:専門・自由業・管理)												
事務	0.77	0.61	1.05	0.80	2.77	0.66	1.45	0.56	0.98	1.43	1.03	0.67
販売・サービス	0.69	0.57	0.68	1.21	1.40	0.93	2.10	0.77	2.12	1.19	1.48	0.92
自営業主(販売店・飲食店・小工場等)	0.93	0.65	0.79	1.03	1.11	1.26	7.85	0.30	1.97	0.83	1.60	1.24
上記以外(生産・技能・運輸・農林等)	1.31	1.07	0.66	0.98	1.85	0.59	1.52	2.13	2.18 *	1.56	1.39	0.84
無職・不明	9.45E+08	0.90	1.07E+09	1.57	0.80	0.53	1.72	0.79	2.17 *	1.08	1.50	1.17
生活程度(参照:「中の中」:「下」)												
「中の中」	1.45	1.95 **	1.17	0.72	1.15	0.72	1.20	0.86	2.72 **	0.66	1.31	0.92
「上」:「中の上」	1.34	0.78	1.77	0.46 *	1.00	0.87	1.21	0.98	2.80 *	0.69	1.82	1.16
無回答	1.86	0.94	0.83	1.19	2.45E+08	0.14	0.07	0.50	0.38	0.60	1.97E+09	0.17
定数					*		*					
Number(n)	(504)	(561)	(482)	(522)	(498)	(499)	(457)	(534)	(514)	(530)	(585)	(519)
Cox & Snell R ²	0.05	0.10	0.05	0.05	0.05	0.06	0.09	0.07	0.06	0.07	0.06	0.03
Nagelkerke R ²	0.07	0.14	0.07	0.06	0.09	0.09	0.16	0.12	0.09	0.09	0.09	0.04
χ ² 検定		***					***	**	*	**	**	**

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)

表5 2005年 「男らしく女らしく」を強く期待する親のロジスティック回帰分析(オッズ比)

2005年	日本		韓国		タイ		アメリカ		フランス		スウェーデン	
	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)	父親 Exp (B)	母親 Exp (B)
親の年齢(中央値換算)	1.00	1.03	0.99	1.03	1.02 *	1.00	1.00	0.99	1.00	1.05 **	0.99	1.00
同居子ども数	0.84	0.93 *	1.21	1.13	0.93	1.05	0.99	1.14	1.01	1.09	0.82	1.14
対象子年齢	1.01	0.96	1.01	1.01	1.00	0.97	0.95	0.98	1.03	0.91 **	1.08	1.03
対象子性別・男児ダミー	2.04 ***	1.63 *	1.81 *	1.88 **	3.21 ***	2.97 ***	0.86	1.31	0.57 **	0.89	0.94	2.24 **
悩み数(0~11個)	1.08	1.04	1.21 ***	0.98	1.04	1.05	0.93	0.92	1.00	1.11 *	0.96	0.99
成長満足度 (満足=4、…… 不満=1点)	1.48	0.82	0.85	0.81	1.37	0.88	1.74	1.18	1.22	1.67 *	1.43	1.56
子育て楽しい (とても=4、…… まったく=1点)	1.35	1.24	2.35 ***	1.53 *	1.41 **	1.26 *	1.22	1.17	1.14	2.28 ***	1.18	1.87 *
親の学歴(参照:低レベル)												
中レベル	1.22	0.87	-	-	0.61 *	0.65	0.98	1.41	1.77	0.57	0.61	0.73
高レベル	1.02	0.38 *	0.91	0.76	0.64	1.12	0.60	0.98	1.77	0.28 ***	0.19 **	0.39
その他・不明	0.00	2.71	0.00	0.00	-	-	0.59	0.34	1.73	1.85	0.37	0.21 *
親の職業(参照:専門・管理)												
事務	0.71	0.61	1.58	2.29	0.28 *	0.38	0.28	1.69	1.04	1.35	0.34	0.92
販売・サービス	0.64	0.61	1.29	2.26	0.61	0.91	0.63	2.13 *	1.44	0.79	0.56	2.49 *
上記以外(生産・技能・運輸・農林等)	1.65	1.17	1.62	1.18	0.94 *	1.08	1.03	1.28	1.18	0.88	1.24	0.96
無職・不明	0.66	0.89	1.11	2.33	0.25 *	0.87	0.54	1.52	1.02	0.68	1.30	1.77
世帯年収(参照:低レベル)												
中レベル	0.96	0.69	0.95	0.96	1.07	1.23	1.01	0.99	0.62	1.02	0.87	0.59
高レベル	0.81	0.79	0.95	1.24	0.89	0.53 *	1.34	1.23	0.45 *	0.56	1.56	0.50
年収不明	0.72	0.76	1.93	1.21	0.29	0.00	1.46	0.78	1.35	1.18	2.84	0.68
定数	**	*	**	**	**	**	**	**	**	***	**	*
Number(n)	(438)	(571)	(506)	(500)	(495)	(505)	(466)	(506)	(464)	(530)	(422)	(601)
Cox & Snell R ²	0.09	0.06	0.10	0.07	0.13	0.13	0.06	0.04	0.08	0.12	0.06	0.07
Nagelkerke R ²	0.12	0.08	0.13	0.09	0.17	0.18	0.08	0.06	0.10	0.16	0.11	0.13
χ ² 検定	***	*	***	**	***	***	***	**	**	***	**	***

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)

4.6. 日本において「男らしく女らしく」をより期待するのはどのような親か

日本において「男らしく女らしく」をどのような親がより期待するのかを、もう少し詳細に検討してみたい。1994年の結果をみてみると(表6)、全体として父親の方が母親より「男らしく女らしく」をより期待しており、期待されている対象は、男の子の方が女の子より期待されている。父親だけを見てみると、男の子に対してより期待するという傾向はなくなるが、母親だけを見てみると、男の子に対してより期待するという傾向がある。

また、学歴をみてみると、全体として中学・高校卒に比べて短大・専門学校卒、大学・大学院卒の方が期待しない傾向にあった。

2005年の結果をみてみると(表7)、全体として父親の方が母親より「男らしく女らしく」をより期待すること、期待されている対象が男の子である傾向がある。父親の傾向をみてみると、男の子へより期待する傾向がでている。これは4.2.日本の子どもの性別・父母の性別「男らしく女らしく」の期待についてでも述べたが(図2、図3)、男の子への期待だけをみると1994年、2005年において変化はないが、2005年において女の子への期待が小さくなったので、男の子へ期待する傾

向がでるようになったと考えられる。また、1994年の結果であった中学・高校卒に比べて専門・短大・高専卒の方がより期待しないという傾向がなくなり、学歴の影響はなくなっている。母親の傾向をみてみると、1994年、2005年の結果の両方において、男の子へより期待する傾向がでている。図2、図3の結果をふまえると、1994年の結果より2005年の結果において、男の子の子両方への期待の水準は下がっているが、女の子への期待の水準の方がより下がっているため、男の子へ期待する傾向がでることがわかる。また、母親の学歴の影響はあり、大学・大学院卒の人の方が中学・高校卒の人より期待しない傾向がある。

親の年齢、子どもの年齢、親の職業、生活の程度によって「男らしく女らしく」への期待に違いはなかった。つまり、「男らしく女らしく」への期待は、職業や年齢、収入の状況といった地位に関わることで説明されない要因によるといえよう。そして、それらの地位に関する要因で統制しても男の子がより期待されている傾向があることがわかる。

表6 1994年 日本の「男らしく女らしく」を強く期待する親のロジスティック回帰分析(オッズ比)

1994年	「男らしく女らしく」を強く期待する=1 それ以外=0		
	全体	父親	母親
	Exp (B)	Exp (B)	Exp (B)
親の性別(父親ダミー)	1.452 *	-	-
親の年齢(中央値換算)	0.999	1.005	0.995
同居子ども人数	1.068	1.109	1.044
子どもの年齢	1.020	1.023	1.007
子どもの性別(男の子ダミー)	1.404 **	1.119	1.738 **
悩み数(0~18個)	0.996	1.036	0.954
成長満足度(満足=4、…… 不満=1点)	1.019	1.151	0.858
子育て楽しい(いつも感じる=3、… 感じない=1点)	1.418 **	1.317	1.530 *
親の学歴(参照:中・高校)			
短大・高専	0.424 ***	0.390 **	0.390 ***
大学・大学院	0.555 **	0.655	0.355 **
その他・不明	0.992	1.013E+09	0.652
親の職業(参照:専門・自由業・管理)			
事務	0.756	0.771	0.613
販売・サービス	0.648	0.688	0.567
自営業主(販売店・飲食店・小工場等)	0.826	0.932	0.646
上記以外(生産・技能・運輸・農林等)	1.210	1.312	1.074
無職・不明	1.064	9.447E+08	0.897
生活程度(参照:「中の下」・「下」)			
「中の中」	1.663 **	1.448	1.945 **
「上」・「中の上」	1.003	1.337	0.778
無回答	1.179	1.861	0.940
定数	*		
Number(n)	(1,065)	(504)	(561)
Cox & Snell R ²	0.069	0.053	0.104
Nagelkerke R ²	0.092	0.070	0.139
χ ²	76.459	27.303	61.612
有意確率 P<	0.000	0.073	0.000
-2 対数尤度	1399.042	669.602	709.453

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)

表7 2005年 日本の「男らしく女らしく」を強く期待する親のロジスティック回帰分析(オッズ比)

2005年	「男らしく女らしく」を強く期待する=1 それ以外=0		
	全体	父親	母親
	Exp (B)	Exp (B)	Exp (B)
親の性別(父親ダミー)	1.992 ***	-	-
親の年齢(中央値換算)	1.014	0.997	1.032
同居子ども人数	1.133	0.942	1.328 *
子どもの年齢	0.983	1.011	0.962
子どもの性別(男の子ダミー)	1.837 ***	2.042 ***	1.633 *
悩み数(0~11個)	1.058	1.082	1.040
成長満足度(満足=4、…… 不満=1点)	1.080	1.484	0.819
子育て楽しい(とても=4、…… まったく=1点)	1.279 *	1.354	1.244
親の学歴(参照:中・高校)			
専門・短大・高専	0.989	1.218	0.873
大学・大学院	0.759	1.019	0.363 *
その他・不明	0.407	0.000	2.706
親の職業(参照:専門・管理)			
事務	0.695	0.715	0.607
販売・サービス	0.648	0.637	0.605
-	-	-	-
上記以外(生産・技能・運輸・農林等)	1.453	1.646	1.167
無職・不明	0.923	0.656	0.888
世帯年収(参照:400万円未満)			
400~700万円未満	0.830	0.959	0.695
700万円以上	0.782	0.806	0.787
年収不明	0.778	0.716	0.756
定数	***	**	*
Number(n)	(1,001)	(438)	(571)
Cox & Snell R ²	0.078	0.093	0.057
Nagelkerke R ²	0.108	0.124	0.082
χ ²	82.242	42.666	33.407
有意確率 P<	0.000	0.001	0.010
-2 対数尤度	1227.798	559.260	645.850

(***P<.001 **P<.01 *P<.05)

5. 「他人との競争に勝つ」期待がこめられた「男らしさ女らしさ」への期待

第一に、「男らしく女らしく」という親の子どもへの期待は減ってきている。6カ国のすべての国において、1994年と2005年の結果を比べると「男らしく女らしく」の期待は減り、特にスウェーデンにおいて著しく減っている。

第二に、日本の「男らしく女らしく」という親の子どもへの期待の10年間の変化をみると、父親の男の子への期待するのだけが変わらず（「強く期待」1994年54.0%、2005年52.2%）、母親の男の子への期待、父親と母親の女の子への期待はいずれも減少している。

第三に、日本における「男らしく女らしく」という期待と、親が子どもに期待する他の項目との関連についてみると、2005年の結果では、父親の男の子への「男らしく女らしく」期待は、「他人との競争に勝てる」「リーダーシップがとれる」との関連が特に高く、母親の男の子への期待も「他人との競争に勝てる」が、関連が高い。一方、父親・母親の女の子への「男らしく女らしく」期待は、「親のいうことを素直にきく」と関連が高い。

第四に、6カ国における「男らしく女らしく」という期待と、親が子どもに期待する他の項目との関連についてみると、「男らしく女らしく」という期待には、男の子の場合は、タイを除く5カ国において「他人との競争に勝てる」という期待と関連が高く、女の子の場合ではアメリカ、スウェーデンでは母親の期待として「他人との競争に勝てる」という期待が、日本、韓国、タイの場合は父親・母親ともに「親のいうことをきく」「困っている人を助ける」「幸せな家庭をきづく」との期待と関連が高かった。

第五に、「男らしく女らしく」をより期待するのはどんな親かについて6カ国の状況をみると、1994年には、日本の母親、タイの母親、アメリカの母親、イギリスの母親が女の子より男の子に対して「男らしく女らしく」をより期待し、2005年の結果になると、日本の父親・母親、韓国の父親・母親、タイの父親・母親、スウェーデンの母親が女の子より男の子に対して「男らしく女らしく」をより期待している。特に日本・韓国・タイにおいて男の子を対象として「男らしく女らしく」を期待する傾向が強まったといえよう。

第六に、日本で「男らしく女らしく」をより期待するのはどんな親かを検証したところ、父親が母親より期待していること、女の子より男の子がより期待されていることがわかった。また、親の年齢、子どもの年齢、親の職業、生活の程度によってこの期待の違いはなかった。つまり、「男らしく女らしく」への期待は、職業や年齢、収入の状況といった地位に関わることで説明されない要因であり、そして、それら地位に関する要因で統制しても男の子がより期待されている傾向があった。

6カ国の国際比較調査の結果をもとに、親の「男らしく女らしく」という期待について検討してきた。全体として、「男らしく女らしく」という期待は減ってきているものの、それは女の子への期待が減っており、男の子に対する「男らしく女らしく」という期待は変わらない。その結果、男の子に対する「男らしく女らしく」の期待は強くなり、期待されているのは女の子ではなく男の子であった。この傾向は日本、韓国、タイで特に顕著である。また、「男らしく女らしく」という期待は、男の子の場合は、日本、韓国、アメリカ、フランス、スウェーデンにおいて「他人との競争に勝てる」という期待との関連が高かった。つまり、「男らしく女らしく」という期待に「他人との競争に勝てる」という期待がこめられているといえよう。特に、「男らしく女らしく」という期待を男の子により期待し、それが「他人との競争に勝てる」との期待と関連が高い、日本と韓国では、「男らしく女らしく」は男の子に期待され、男の子が「他人との競争に勝てる」ために期待されているともいえよう。「男らしく女らしく」は単に「男らしく育ててほしい、女らしく育ててほしい」という期待ではなく、現代社会の競争のあり方を背景に「男らしく」のなかに、「男の子なのだから、将来ちゃんとした人生が歩めるように、競争に打ち勝ってほしい」という期待がこめられていると考えられる。そして、このような期待のあり方は親たちにとっては、神原・吉田が指摘したように「男らしく女らしく」という子育て意識が性差別につながるという認識ではなく、現代社会の性別役割分業のあり方に基づいた「子ども（男の子）にちゃんとした人生を歩んでほしい」という期待であり、「ジェンダー」をめぐる教育のあり方における議論のすれちがいの、ここに要因があるかもしれない。

〈注〉

- 1) 1994年の調査は日本女子社会教育会（現日本女子学習財団）が「家庭教育に関する国際比較調査」として実施した。
- 2) 調査の概要に関しては、牧野カツコ 2007『「家庭教育に関する国際比較調査」の概要と意義』『国立女性教育会館研究ジャーナル』国立女性教育会館を参照していただきたい。
- 3) 2005年の調査の「期待しない」は「あまり期待しない」「全く期待しない」を合計した割合である。
- 4) 2005年の調査の「期待しない」は「あまり期待しない」「全く期待しない」を合計した割合である。
- 5) 表1、表2の網掛けの項目が1994年と2005年で一致する項目である。

- 6) 相関係数はピアソンrを用いた。また、1994年と2005年ではカテゴリーが異なり、1994年では「強く期待する」「少し期待する」「期待しない」、2005年は「強く期待する」「少し期待する」「あまり期待しない」「全く期待しない」である。
- 7) 1994年と2005年におけるロジスティック回帰分析で用いた変数において、1994年と2005年でカテゴリーが異なるものがある。「子育てが楽しい」は、1994年は3カテゴリー、2005年は4カテゴリーである。生活の状況は、1994年は「生活程度」、2005年は「世帯年収」である。また、1994年および2005年の「学歴」のカテゴリー、2005年の「年収」のカテゴリーは以下（注7の表1～3）のようにになっている。

注7)の表1
1994年/学歴の分け方

親の学歴	日本	韓国	タイ	アメリカ	イギリス	スウェーデン
低レベル	中・高校	中学	小学校	中・高校	総合制中等学校等	9年生まで
中レベル	短大・高専	高校	中・高校	専門・短大・高専	—	高校
高レベル	大学以上	専門大学・大学以上	大学以上	大学以上	カレッジ・大学以上	大学以上
その他・不明	その他・不明	その他・不明	その他・不明	その他・不明	その他・不明	その他・不明

注7)の表2
2005年/学歴の分け方

親の学歴	日本	韓国	タイ	アメリカ	フランス	スウェーデン
低レベル	中・高校	中・高校・職業学校	行っていない・小学校	中・高校	中学校	9年生まで
中レベル	専門・短大・高専	—	中学校・職業学校	専門・短大・高専	職業教育・高校	高校
高レベル	大学以上	専門大学・大学以上	大学以上	大学以上	大学以上	短大・大学以上
その他・不明	その他・不明	その他・不明	—	その他・不明	その他・不明	その他・不明

注7)の表3
2005年/年収の分け方

世帯年収	日本	韓国	タイ(月収)	アメリカ	フランス	スウェーデン
低レベル	400万円未満	3000万ウォン未満	6000 パーツ未満	4万ドル 未満	18000 ユーロ未満	30万 クローネ未満
中レベル	400-700万 円未満	3000-4000万 ウォン未満	6000-15000 パーツ未満	4-8万ドル 未満	18000-30000 ユーロ未満	30-50万 クローネ未満
高レベル	700万円以上	4000万 ウォン以上	15000 パーツ以上	8万ドル以上	30000 ユーロ以上	50万 クローネ以上
年収不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明

〈参考文献〉

本田由紀 2007 「子育てをめぐる格差と混乱」 社会政策学会第114回大会共通論題『子育てをめぐる社会政策—その機能と逆機能』フルペーパー

木村涼子編著 2005 『ジェンダー・フリー・トラブル』白澤社

神原文子・吉田あけみ 2000 「子育てにおけるジェンダー」『教育期の子育てと親子関係』ミネルヴァ書房

国立女性教育会館 2007 『平成16年度・17年度 家庭教育に関する国際比較調査報告書』

牧野カツコ 2007 「『家庭教育に関する国際比較調査』の概要と意義」『国立女性教育会館研究ジャーナル』11号 独立行政法人国立女性教育会館

M.Kohn,1977 “Class and conformity: A study in values with a Reassessment, 1977”, University of Chicago Press Chicago

中西祐子・堀健志 1997 「ジェンダーと教育研究の動向の課題」『教育社会学研究』61:77-100

渡辺秀樹 1996 「母親が子どもに望むこと」『児童心理』50(6):44-54 児童研究会 金子書房

吉武久美子 1996 「少子時代の子育ての現状分析と提言—しつけ、子どもへの期待、父親の参加度」『純心人文研究』2号:39-49 長崎純心大学

財団法人日本女子社会教育会 1995 「家庭教育に関する国際比較調査報告書—子どもと家庭生活についての調査—」

(おおつき・なみ 聖心女子大学准教授、国立女性教育会館客員研究員)